

## 【自己犠牲について】

自分の命を犠牲にして、人命救助をするということは…

- 5 ① 『神』から戴いただいている肉体を大事にしている事になるので、  
『神』から見たら面白くありません。
- ② 本来、最優先に守るべきである残された家族を悲しませ、救えない事になりますので、  
本末転倒ほんまつてんとうになります。

10 以前ニュースで報じられていましたが、自分の命も省みず他人を救い、  
助けに行った当人はカルマの付け替えで亡くなってしまいました。  
多くの方々はこの事に賛美の声を上げていますが、この方が本当に守  
らなければならなかったのは、家族の幸せだったのです。

人命救助を仕事にしている人は…

- 報酬ほうしゆうを貰って行う事なので、カルマの付け替えは起こりません。
- 20 また、そういう人が人命を救う場合は、『神』の予定に入っているのです。

★ 助ける事によって自分に大きなリスクを負うようでは、助けたとは言えません。

## 25 【自利・利他】

自らが感謝の心を持って穏やかに生きていく事は、その他多くの人々を救う利他りたの働きが  
生まれます。

- しかし、既存きぞんの教団で最も多い教えは“利他”のみで、自らを犠牲ぎせいにしてでも他を救うと  
30 いうものが多いのです。

★ 『神』は自己犠牲じこぎせいの上に立つ利他りたをお喜びになりません。

- まずは己きたを鍛えて成長させて、しっかりと力を身に付けることによって、初めて利他りたがで  
35 きるのです。

40 自らが本当に開運して幸せ一杯にならなければ他人を本当の意味で救う事など  
出来ないのです。

人間が本当の幸せになるのには、今の世間の常識ではダメなのです。  
便利だと思って使っていた物が原因で、公害が起きて人間が苦しんでいるように、  
人間の知恵では、先の事は読めないのです。